第７８回全日本大学バスケットボール選手権大会
大会要項

１．名　　称　第７８回全日本大学バスケットボール選手権大会
２．主　　催　公益財団法人日本バスケットボール協会・一般財団法人全日本大学バスケットボール連盟
３．共　　催　一般社団法人大学スポーツ協会
４．後　　援　スポーツ庁（予定）・株式会社朝日新聞社
５．協　　賛　株式会社モルテン・大塚製薬株式会社・アシックスジャパン株式会社・株式会社ロッテ
東日本旅客鉄道株式会社秋田支社
６．主　　管　一般社団法人関東大学バスケットボール連盟・一般社団法人関東大学女子バスケットボール連盟
７．期　　日　２０２６年１２月４日(金)～１２月１３日(日)（予定）
８．会　　場　国立代々木競技場 第二体育館・EBARA WAVE アリーナおおた・エスフォルタアリーナ八王子・駒沢オリンピック公園総合運動場 屋内球技場
９．参加資格

①公益財団法人日本バスケットボール協会（以下、JBA）に加盟登録されたチームであること。
②JBA に競技者登録された選手であること。
③本大会参加大学は、一般財団法人全日本大学バスケットボール連盟（以下、本連盟）に登録料を添えて加盟登録したものの中から、各地区連盟より推薦された大学とする。
④本大会参加大学は、チームスタッフ内に JBA 公認Ｃ級コーチ以上の資格を有する者を１名以上事前に大会登録しておくこと。試合の際、ベンチで指揮する者は、登録された資格を有するコーチであること。
また、コーチ（指導）実績１年目に限り JBA 公認 D 級コーチ資格でも認める。

10. 参加チーム

男子４０大学　　女子４０大学
①地区連盟より１大学ずつの９大学を推薦
②前年度１位から４位までの地区連盟より１大学ずつの４大学を推薦
内訳
男子：1 位白鷗大学、2 位早稲田大学、3 位日本経済大学、4 位東海大学
女子：1 位東京医療保健大学、2 位白鷗大学、3 位筑波大学、4 位早稲田大学
③開催地区の連盟より１大学を推薦
男子（関東学連より１大学）　　女子（関東女子学連より１大学）
④残り男子２６大学、女子２６大学の内訳は次の通り。
〈男子〉北海道地区（２）・東北地区（２）・北信越地区（１）
関東地区　（８）・東海地区（３）・関西地区　（４）
中国地区　（２）・四国地区（１）・九州地区　（３）
〈女子〉北海道地区（２）・東北地区（２）・北信越地区（２）
関東地区　（８）・東海地区（３）・関西地区　（４）
中国地区　（１）・四国地区（１）・九州地区　（３）

11. 競技方法

①３チーム毎８ブロック内でリーグ戦（グループステージ）を行い、各試合に勝ったチームに勝ち点２、負けたチームに勝ち点１、各試合の没収によって負けたチームに勝ち点０が与えられる。
勝ち点の大きい順にブロック内の順位を決定する。
グループステージの勝ち点が２チーム以上同じ場合、当該チーム間の対戦における勝ち点の大なるチームを上位とする。
勝ち点も同じ場合は、当該チーム間の対戦におけるゴールアベレージの大なるチームを上位とする。
②各ブロック首位チームは、トーナメントに出場する権利を有する。
トーナメントでは、優勝決定戦以外に３位決定戦も実施する。

③試合球については、本連盟指定球を使用する。
【株式会社モルテン社製 BG5000 NEW FIBA OFFICIAL GAME BALL】
（男子は１２面体７号球・女子は１２面体６号球）
④審判については全試合「スリーパーソンオフィシエーティング」で行う。

12.大 会 規 定

①大 会 登 録

イ．大会登録は、選手１８名以内（当日エントリーは１５名以内）、スタッフ（部長・監督・コーチ・アシスタントコーチ･主務・トレーナー他）７名以内とする。但し、部長・監督以外のスタッフの名称は、各チームによって変更可能である。また、部長が監督を兼務している場合は１名として数える。※学生スタッフのエントリー数の制限はない。

ロ．ＡＤカード所持者から当日２名をコンディショニングスタッフとして申請できる。
ただし、ベンチに入ることはできないので、ベンチ後方にてサポートすること。
※練習補助(リバウンド・パス出し)を行うことは可能とする。

ハ．外国籍選手について、当日のエントリーは２名までとし、競技中コート上で同時にプレイできる外国籍選手は１名とする。
※追加登録変更の締め切りは全大学初戦の２週間前とする。締め切り後の登録変更は一切認めない。（選手・学生スタッフ）

ニ．スタッフとして登録できる人数(７名)から、登録された大人スタッフの人数を差し引いた数のみ学生スタッフのエントリーを可能とする。

②ベ ン チ

イ．ベンチは、大会組み合わせ番号の小さいチームがテーブル・オフィシャル席からコートに向かって左側とする。

ロ．ベンチにはゲームエントリーされた選手及び登録されたスタッフ以外は入れない。

ハ．試合においては“10.参加資格④”に該当するコーチ１名以上がベンチ内にいない場合は原則没収試合となる。

③ゴ ー ル

イ．第１・第２クォーターのゴールは自チームのベンチ側とし、第３・第４クォーターおよびオーバータイムのゴールは相手チームのベンチ側とする。

④練 習

イ．ゲーム開始前のウォーミングアップは自チームのベンチ前のハーフコートで行う。

ロ．ハーフタイム時のウォーミングアップは、相手チームのベンチ側とする。

⑤ユニフォーム

イ．ユニフォームは、組み合わせ番号の小さいチームが淡色（白色)、大きいチームが濃色を着用する。但し、２戦目からは当該大学間での話し合いにより大会本部の了承を得た上で変更してもよい。

ロ．ユニフォームの番号は、１番から９９番までと、０番及び００番を同時に使用することができる。

ハ．大会登録の際、主将（キャプテン）を一番前に置く。その他の記載順については番号順とする。

ニ．ユニフォームのシャツからはみ出してしまうアームスリーブ[腕用のサポーター(パワー・サポーター、パワー・スリーブなど、通常のサポーターも含む)]及び脚のコンプレッションスリーブを着用する場合、ユニフォーム上下と同じ主となる色もしくは黒色か白色のものを着用する事。
但し同じチームのプレイヤーは同じ色を統一して着用しなければならない。

ホ．やむを得ない事情により上記を遵守できない場合は、事前に本連盟に申請し、許可を得ること。

ヘ．ソックスは、チームの全選手が同じ主となる色でデザインされたもので、試合中見える状態でなければならない。

ト．パンツの長さは膝上までとし、膝頭にかかってしまうパンツはユニフォームとして認められない。

チ．全てのプレーヤーは、コート内ではシャツをパンツの中に入れなければならない。但し本大会では、女子についてはシャツをパンツの外に出すようにデザインされたものを使用してもよい。

リ．ゲーム中にプレーヤーが着用するシューズの色の組み合わせは自由であるが、左右は同じものでなければならない。点滅するライト、反射素材やその他の装飾物は認められない。また、シューズの左右の色が違う場合でも、同じシューズ（形状、メーカー）であること。

ヌ．同じチーム全てのプレーヤーの腕や足のコンプレッションウェア、ヘッドギア、リストバンド、ヘッドバンドは同じ単色でなければならない。

⑥棄　　権

イ．やむを得ない理由で棄権を申し出る場合は、該当試合の前日２４時（深夜０時）までに連絡をすること。本連盟が承諾したのち、本連盟から相手チームへ連絡する。
※該当試合当日の棄権申請については速やかにその対応につとめる。

ロ．大会期間中に運営上支障を来す事態と判断された場合には、専務理事が招集する会議にてその処置・対応について審議する。

⑦メンバー表

イ．メンバー表は、大会指定用紙を使用し、各チーム当該試合の試合開始３０分前までに、大会本部に提出すること。

ロ．提出メンバー表の備考欄に、外国籍選手は「外国籍」と記入すること。

13. そ　の　他

イ．試合が定刻通りに終わらなかった場合は、試合終了後原則１５分後に次の試合を開始する。

全ての問題については、本連盟の判断を最終決定として指示に従うこと。

上記以外のルールは「２０２６バスケットボール競技規則」「一般財団法人全日本大学バスケットボール連盟定款・基本規定」を適用する。その他、社会的状況、行政指導、または、JBA からの指示等によって一時中断または大会を中止する場合がある。